

Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール V4 L60 アップデート留意事項

ここでは、Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツールを V4 L60 にアップデートしてご利用になる場合の留意事項と、L40 以降にレベルアップすると使える機能について説明します。

■留意事項

- 「Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール」の更新プログラムは、インターネットの本製品専用ホームページで提供します。事前にダウンロードをお願いいたします。
本製品専用ホームページについては、ESPRIMO Edge Computing Edition Z0110/W および Z0111/W に添付されている「本製品をお使いのお客様へ」をご覧ください。
- 運用管理ツールからエッジコンピューティングデバイスのアクセスポイント部のファームウェアをアップデートするには、FTP サーバーが必要です。
利用可能な FTP サーバーがない場合は、運用管理ツール サーバ機能、運用管理ツール 管理コンソール機能をインストールしてある端末に構築できます。
- FTP サーバーを構築しない場合は、アクセスポイントの管理画面から、ファームウェアをアップデートしてください。
運用管理ツール コンソール機能の「管理コンソール(機器管理)」画面で、「機器管理」→「メンテナンス」→「アクセスポイント」の順にクリックすることで、アクセスポイントの管理画面を表示できます。
- FTP サーバーのアクセス用に作成したユーザーアカウントのパスワード期限は、OS の標準で 42 日で切れます。
パスワードの期限が切れると FTP サーバーにアクセスできなくなり、運用管理ツールの「ファームウェアアップデート」からファームウェアのアップデートができなくなります。その場合は、FTP ユーザーのパスワードを変更してください。
変更後、ポリシーエディタツールの「AP 操作に関する設定」→「FTP サーバのパスワード」を再度設定してください。
- 運用管理ツールをご使用の際は、アクセスポイント部のファームウェアを Ver1.15 にアップデートしてお使いください。ファームウェアは下記サイトからダウンロードしてください。
「ドライバダウンロード」 (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html)
ファームウェアのアップデートについては、「アクセスポイント操作ガイド」をご確認ください。

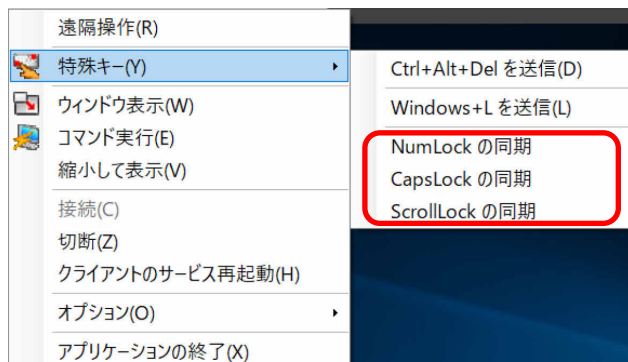
- アクセスポイント部のファームウェアが Ver1.1.3 の場合、運用管理ツールの「機器操作」→「PC/AP 管理」→「ファームウェアアップデート」からファームのアップデートをすると、ファームウェアのアップデート自体は成功していますが、「失敗：ファームウェアのアップデート処理が全て失敗しました。」と表示されることがあります。
- ポリシーエディタツールには、設定値のインポート／エクスポート機能はありません。「初期設定に戻す」をクリックすると、すべての値が初期値に戻り、あとから設定した値が消えますのでご注意ください。
- エッジコンピューティングデバイスに運用管理ツール クライアント機能をインストール後は、「運用管理ツール/AP 部 連携用パスワード設定ツール」を必ず実行してください。実行方法については『Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツールセットアップガイド』－「2.4 管理する端末（マスター端末、エッジコンピューティングデバイス）の構築」－「2.4.2 運用管理ツール/AP 部 連携用パスワード設定ツール」をご覧ください。
- クライアント機能をアンインストール、再インストールした場合は、再度「運用管理ツール/AP 部 連携用パスワード設定ツール」を実行してください。
- 「運用管理ツール/AP 部 連携用パスワード設定ツール」にてアクセスポイント部分とパスワード連携後、再びアクセスポイント部の admin ユーザーのパスワードを変更した場合は、再度「運用管理ツール/AP 部 連携用パスワード設定ツール」を実行する必要があります。
- 「AP 管理」の操作について
アクセスポイント部の管理画面にブラウザでログインしている場合に、管理コンソール機能「AP 管理」の次の 4 つの操作を行うと失敗します。
 - ・再起動
 - ・インポート／エクスポート
 - ・ファームウェアアップデート
 - ・時刻同期
 ログインしている場合は、ブラウザで「ログアウト」をクリックし、ログアウトしてから操作してください。

(ログアウトの方法)

 - ・管理コンソール機能を実行している端末（今操作している端末）のブラウザで開かれている場合は、「ログアウト」をクリックして正しくログアウトしてください。ブラウザの×ボタンをクリックして閉じた場合は、正しくログアウトされないのをご注意ください。
 - ・他の端末から開いている場合は、その端末で「ログアウト」をクリックして正しくログアウトしてください。
- Windows 11 のスマートアプリコントロールを「オン」にしていると運用管理ツールをインストールできません。スマートアプリコントロールを「オフ」または「評価」に設定してインストールしてください。

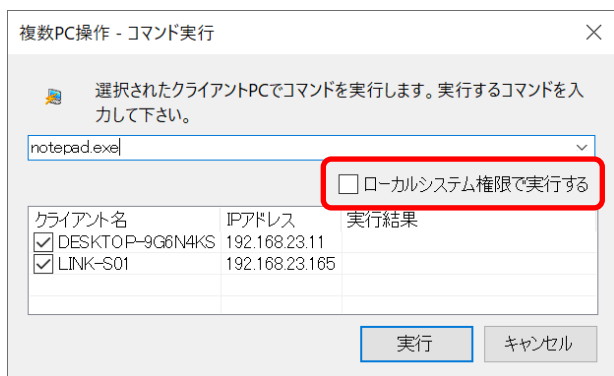
■V4 L40 で追加・変更された機能

- リモート操作時、管理者端末から端末に対して実行できる特殊キー操作が増えました。



特殊キー操作の手順は、『Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール リモート操作ガイド』－「3.3 端末に特殊キー操作をするには」をご覧ください。

- リモート操作時、管理者端末からコマンドを実行するときに、ログオンしているユーザ権限で実行していましたが、「ローカルシステム権限」で実行する機能が追加されました。



コマンド実行の手順は、『Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール リモート操作ガイド』－「3.4 端末でコマンドを一斉に実行する」をご覧ください。

- ポリシーエディタで変更できる項目が追加されました。

運用管理ツール管理コンソールの制御

エッジコンピューティングデバイス管理画面で利用するポート番号（初期値：10090）

ポート番号変更ツールを利用し、エッジコンピューティングデバイスの管理画面で利用するポート番号を初期値の10090から変更した場合は、こちらの設定も併せて変更してください。

ポリシーエディタツールの使い方については、『Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール ユーザーガイド』－「付録F ポリシーエディタツールの使用方法」をご覧ください。